

報道関係者 各 位

町田市と小田急電鉄は、2023年度から鶴川駅
南北自由通路整備事業及び駅改良工事に協働で着手します
～ 工事施行協定を締結しました ～

町田市（市長：石阪 文一）と小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2023年5月26日（金）に、鶴川駅南北自由通路整備事業及び駅改良工事の着手に関する施行協定（以下「本協定」という。）を締結しました。

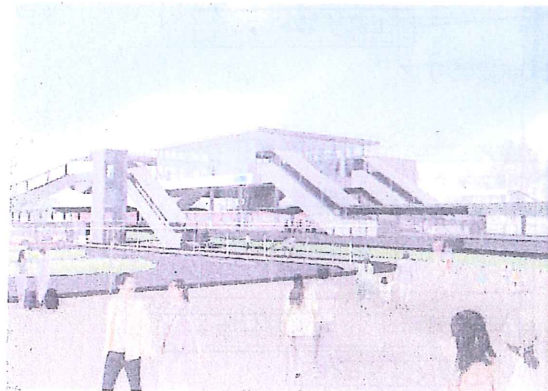
本協定に基づく、南北自由通路及び新たな鶴川駅の整備によって、駅南北の連絡性や駅利用者の快適性・利便性向上を図ります。

南北自由通路及び新たな鶴川駅の整備は、2027年度末の使用開始を目指して、2023年6月から工事に着手する予定です。

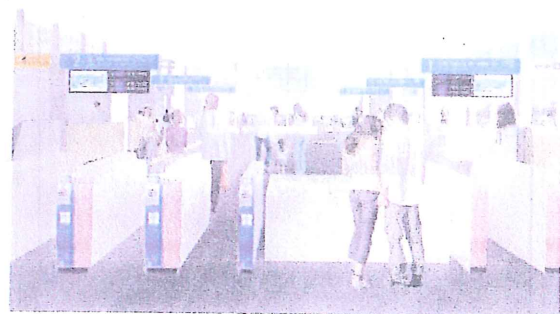
また、現在の北口改札の位置に地域交流とにぎわいを創出する「地域交流拠点施設」を整備します。本協定と同日付にて、株式会社ゼルビアと整備に向けたパートナーとして協定を締結しました。

今後も、駅を中心とした周辺まちづくりを協働し進めてまいります。

※ 事業概要等は別紙のとおりです。



▲新しくなる「鶴川駅」の外観イメージ



▲新しくなる「鶴川駅」改札口の内観イメージ



▲「南北自由通路」の外観イメージ



▲「南北自由通路」の内観イメージ

【別紙】

◆ 事業概要

(1) 南北自由通路整備事業

所在地	東京都町田市能ヶ谷1丁目地内
事業者	町田市
構造	鉄骨造
幅員・延長	幅員 10.5m・延長 120m
工事期間	2023年度から2028年度（残工事含む）

(2) 鶴川駅改良事業

所在地	東京都町田市能ヶ谷1丁目地内
事業者	小田急電鉄
構造	鉄骨造
面積	建築面積 約880㎡
平均乗降人員	57,563人/日（2022年度）
工事期間	2023年度から2028年度（残工事含む）

◆ 整備イメージ（駅構外・駅構内）

- ※ 現在の駅とホームをつなぐ跨線橋から新宿方に新たな駅と自由通路を設けます。
現在の北口改札の位置に、地域交流拠点施設を整備します。詳細は今後検討します。

